

事業所名

児童発達支援事業所 ほっぺ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念		（スローガン） なんせ明るく、なんせ笑顔で、そしてありのままを大切に～願いをのせた個別支援計画のために～ （基本理念8条） ・当事者主体のサービスを行う・地域とのかかわりを大切にする・社会資源とのネットワークを大切にする・可能な限り、ノーマライゼーションな社会を目指す・人としての価値を知る、または伝えていく・誠実、熱意、献身的、な思いを持つ・個性を感性の尊重・専門職としての価値と倫理を磨き続ける								
支援方針		①医療的ケアが必要な乳幼児や、重症心身障害をお持ちの乳幼児が安心して過ごせる環境を整えます。 ②個別支援計画に基づき、個々の成長や身体状態に応じた支援を行います。 ③個別支援と集団支援のプログラムを作成し、それぞれの発達に応じた支援を提供します ④「重心型」の児童発達デイサービスとして、常駐の看護師大体制を整えています。 ⑤外部機関とも連携し個々の発達に合わせた活動を取り入れています。 ⑥「季節」を感じられる行事の開催を実施しています。								
営業時間		9	時	00	分から	15 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	柔軟なプログラムで、個々の健康状態に合わせて、個別のプログラムを行います。 生活の中で、自分でやってみたいという気持ちを大切にし、個々の「できた!」を応援します。 保健日よりや毎日の外遊びを通して心も体も健康になれる支援を心がけます。 日々の体調管理として毎日のバイタルチェックを行います。								
	運動・感覚	五感を刺激した活動（感触あそび・ふれあい遊び）を提供し、感性が豊かに育つ支援を行います。 リハビリを通して体の硬直を防ぎ、座位や立位、歩行の練習を行います。 表現遊びを通して、模倣や自由な表現を身につけます								
	認知・行動	絵カードや視覚情報を使って、一日の見通しや、気持ちが表現できるように支援します。 横の発達を重視し、感性が揺れることを柔軟にキャッチしていきます。 季節の行事に参加して、日本の文化を体感していきます。								
	言語 コミュニケーション	身振りやICT機器、絵カードを活用して、自分の思いを表現できるようにします。 言葉や、話に興味や関心を持ち親しみをもって聞いたり話したりします。 お友達通しの関りの中で、気持ちの代弁やお手伝いを介して、コミュニケーションの根っこを育てていきます。								
	人間関係 社会性	職員が間に入りながら、お友達と一緒に、他者の気持ちや、自己について感じ、理解をしていきます。 友達の良さに気づき、運動会や、修了式で協調性を養います。 養護と教育の観点から個別プログラムを作成し、人と関わることを大切にしていきます。								
家族支援		毎月のモニタリング、年2回の面談を通して、ご家族からのニーズを聞き、個別支援計画で実現できるようにする。 毎日の様子を連絡ノートで共有する				移行支援		学校説明会や入学に向けて、一緒に考え、そこに向けて支援を行います		
地域支援・地域連携		在住の市の教育委員会、小学校、養護学校と連携を図る こぐまほいくえんとの交流				職員の質の向上		法人研修・保育研修を通し、日々の支援の質の向上を図ります		
主な行事等		デイケア（月1）・七夕まつり・夏祭り・運動会・ハロウィンパレード・クリスマス会・節分・修了式・お誕生日会・避難訓練・親子活動								